

有機農産物の生産行程管理者の自己診断シート

申請者名

検査前に自身で検査項目について確認し、該当する項目にチェックを入れてください。
実地検査の際に検査員に必ず提出してください。

有機農産物の在庫量（米、麦、大豆、芋類等。野菜、果実などは記載不要）					
種類	3月31日	種類	3月31日	種類	3月31日
	kg		kg		kg
	kg		kg		kg

JAS シール	3月31日	実地検査時
	枚	枚

S-1 申請書	
	生産行程管理担当者及び格付担当者は認証講習会を受けている
	他の事業者から有機農産物を仕入れ、小分けして販売する
内部（生産行程管理）規程	
	有機農産物の認証の技術的基準にある生産行程の管理又は把握の実施方法を遵守している
格付規程	
	有機農産物の認証の技術的基準にある格付の実施方法を遵守している
栽培管理基準	
	栽培管理基準は実態に即した記載である
	作物ごとに栽培管理基準を作成している
S-1C 申請ほ場一覧	
	種類(水稲、麦、大豆、野菜等) 有機区分、有機開始年月日を正しく記入している
	有機ほ場以外の面積、作物名を記入している
S-3 生産ほ場及び周辺図	
	隣接地の土地利用、隣接地からの距離、緩衝地帯の有無、用排水口等確認しやすい記載である
	用水の水源、空散の有無を記入している
S-4A 育苗施設、は種・育苗・ほ場に使用機械、作業マニュアル	
	有機ほ場で使用する機械類(播種機～コンバイン)を全て記入している
	農機具使用管理マニュアルは実態に即した記載である
S-4B 乾燥・調製・保管・出荷施設、作業マニュアル	
	有機農産物に使用する乾燥・調製機器を全て記入している
	乾燥・調製・格付等の作業マニュアルは実態に即した記載である
S-4C 乾燥・調製・保管施設の平面図	
	乾燥・調製・保管施設の平面図は実態に即した記載である
S-5 有機農産物の栽培計画	
	本年の作付計画を正しく記入している
	作業計画は具体的(肥料、農薬名等)に記入している

S-6 育苗・資材リスト	
	種子、苗の有機区分、入手先、由来が有機で無い理由などを記入している
	育苗土、肥料、農薬は正しい名称、メーカーを記入している
	育苗土、肥料、農薬の購入伝票を保存している
	自家製育苗土・肥料の資材証明書(S-6B)を作成している
S-7 生産行程管理記録	
	管理記録の根拠になる書類: 1.作業日誌 2.手帳、ノート 3.カレンダー 4.パソコン、スマホ 5.その他()
	作目(品種)、ほ場番号、有機区分が明確にわかる
	収穫、調製の記録がある(米の場合、粳摺り等)
	資材(肥料、農薬)と使用量の記録がある
	本年、新たに購入、使用した資材名
	使用農機具、施設の清掃・洗浄の記録がある
	精米し出荷している場合、精米・清掃記録(S-10)の記録がある
S-9 格付記録・格付実績報告書	
	格付記録(格付日、数量)は出荷台帳(S-10,11)と照合して適切に記帳している
	JAS シールの受払等は正確に記録している
S-10、11 品種別出荷台帳	
	出荷日、数量、JAS シールの受払等は適切に記入している
	格下げされた荷口の JAS シールは適切に処理している(帳簿への記入、実数との照合)
周辺環境	
	隣接ほ場、周辺環境、廃棄物、資材等からの汚染のリスクはない
使用種子、苗 (該当する項目に○を付け、()内にほ場番号、購入先を記入する)	
	水稻 1.有機種子 自家採取 採取ほ場() ・ 購入先() 2.無消毒種子 自家採取 採取ほ場() ・ 購入先() 3.慣行種子 自家採取 採取ほ場() ・ 購入先()
	種子消毒 1.温湯処理 2.微生物農薬使用 3.無消毒
	麦、大豆、野菜、その他 1.有機種子 自家採取 採取ほ場() ・ 購入先() 2.無消毒種子 自家採取 採取ほ場() ・ 購入先() 3.慣行種子 自家採取 採取ほ場() ・ 購入先() コーティング(無 有) 薬剤名()
	購入苗 1.有機苗 2.無消毒苗 3.慣行苗 購入先()
育苗方法	
	1.ハウス育苗 2.露地育苗(水田 畑)
	育苗土(自家製 購入)
	育苗中の病害発生対策(有 ・ 無)
	育苗期間以外の(ハウス等)管理(有 ・ 無)

肥料	
	使用する肥料は有機JAS規格別表1に適合している
	購入肥料がある。肥料の証明書は取得している
	有機栽培に使用できない肥料の在庫があるが、適切に管理している
農薬	
	有機JAS規格別表2に適合している農薬を使用している
	有機栽培に使用できない農薬(使用禁止資材)の在庫があるが、適切に管理している
その他の資材	
	肥料、農薬以外に使用する資材がある(マルチ、シート、誘引テープ等)
雑草の抑制	
	1.手取り 2.機械除草 3.マルチ 4.紙マルチ 5.合鴨 6.深水 7.米ヌカ 8.くず大豆 9.2 回代掻き
畦畔の除草	
	1. 機械除草 2. 防草シート 3. コンクリートブロック 4. その他
病害虫の防除	
	発生させないための対策、発生した場合の対応策を立てている
作業委託	
	他者に委託している作業が無い
	他者に委託している作業がある
	→有機JASの条件を満たす委託契約書がある
航空散布	
	航空散布対象のほ場が隣接していない
	航空散布対象のほ場が隣接している(飛行経路を確認し、ほ場からの距離を確認する)
	→航空散布実施団体から実施除外措置をとっている
	→農薬落下検知板を準備している
ほ場	
	地形、水系、周辺ほ場の状況から周囲から使用禁止資材の流入や飛来のリスクは全く無い
	使用禁止資材の流入のリスクがあるほ場にビオトープを設置している
	畦畔は、隣接水田から除草剤等の流入リスクの無い高さが保たれている
	ほ場看板をすべてのほ場に立てている
緩衝地帯	
	有機栽培ほ場は、緩衝地帯0が不足する箇所は植栽せず、全てのほ場が必要な距離を保持している
	隣接慣行ほ場との距離が1.5m以下であり緩衝地帯が必要なほ場がある
	→緩衝地帯が不足している箇所と必要な幅を把握している ほ場番号()
	→隣接慣行ほ場の耕作者と協約書を取り交わしている
用水	
	慣行田の排水が流入しないように、用水路が分離している。
機械器具の管理	
	有機ほ場で使用する農機具は全て有機専用である
	有機ほ場で使用する農機具は慣行ほ場と併用している
	→コンバイン等、非有機農産物の混入防止策を取っている
	農機具の清掃と洗浄状況(1.使用前 2.使用后)

施設（乾燥・糲摺り・選別・包装）	
	有機農産物の調製に使用する施設は全て有機専用である
	有機農産物の調製に使用する施設は非有機農産物と併用している
	→乾燥・糲摺り・精米行程において非有機農産物の混入防止策を取っている
	調製機械に押出量を設定している
精米施設	
	精米施設は有機（ 1.専用 2.併用 ）
	精米機に押出量を決めている
野菜の調製施設	
	野菜の洗浄場所は清潔に保たれている
倉庫（保管施設）	
	保管施設は有機（ 1.専用 2.併用 ）
	非有機農産物の混入防止・害虫発生防止等のための清掃を常に行っている
	害虫・ネズミ発生防止のために資材(粘着テープ等)を使用している
労働安全に対する取組	
	安全に作業を行うため、服装、ヘルメット着用等に配慮している
	農機具、調製施設等の安全装備、使用前点検、使用後の整備、清掃、洗浄など適切な管理を行っている
	作業中の機械・設備のトラブルに対して、エンジンや電源を切って対応している
	事故に対応した保険に加入している
格付け	
	「有機農産物の生産行程についての検査方法」に基づいて格付を行っている
	精米出荷があり、精米の工程について作業、清掃マニュアルを作成して、精米量を格付量としている
品質表示	
	米袋等にロット、ほ場番号を記入している
	荷口のJASシール、認証番号、表示(名称欄に「有機栽培米」等の表示)を確認している
	玄米→調製年月日、精米→精米年月日を正しく表示している
JASマーク	
	自作の場合、JASマークは規格に合っている
	台帳と在庫有高が合っている
	JASシール、出荷袋の保管管理は適切である
包装	
	有機農産物以外の農産物の包装袋との混合防止措置がとられている
出荷	
	出荷先を把握している
	格付し出荷した荷口に対し苦情が持ち込まれたか（ 有 ・ 無 ）